

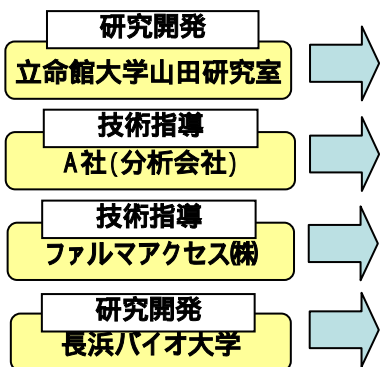
地域	滋賀県近江八幡市	認定日	平成19年2月21日	5 - 18 - 059
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	検査・計測	

事業名:「みらくる20ST」を用いた高度分析サービス事業及び装置の製造・販売

事業概要(新規性、市場性等)

・本事業のコア企業(株)光子発生技術研究所は大型放射光並みの高品質X線を出す「みらくる20ST」を開発した。この装置は、新原理に基づき高輝度X線や遠赤外線を発生させることが出来る画期的な小型装置であり、材料分析、不純物分析、タンパク質構造解析等多岐に渡る分野で利用が可能である。また、企業が単独で所有することが可能であるため、機密保持の問題や利用回数の制限がないだけでなく、ユーザー自身が運転しながら利用することができるという利便性がある。本事業は、「みらくる20ST」の製造・販売及び本装置を用いた高度分析サービス事業等を行うものである。

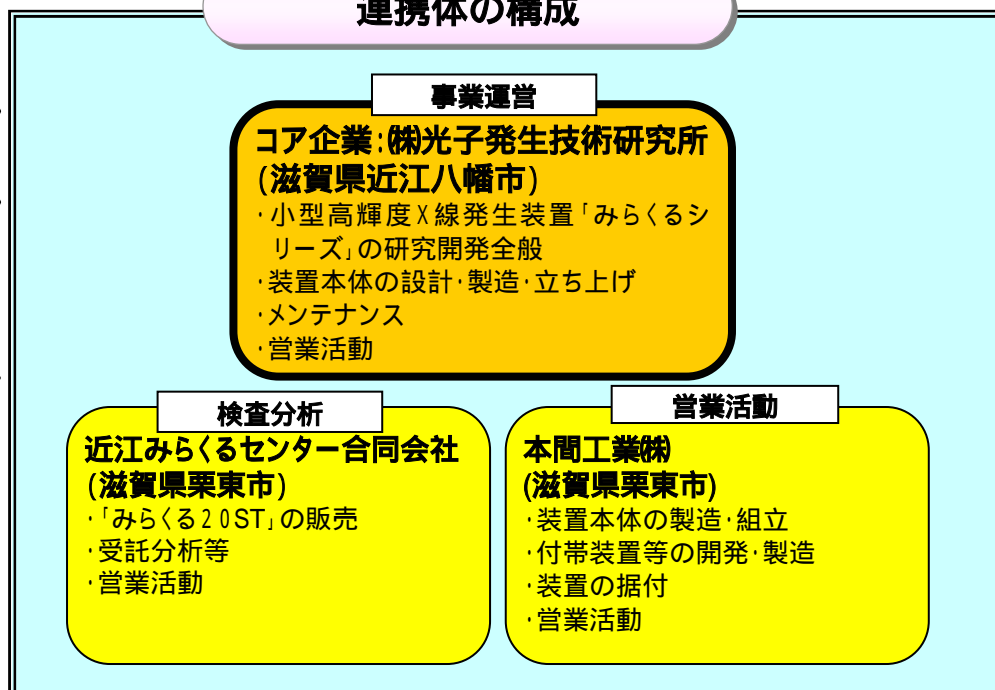
事業推進体制



支援予定メニュー

補助金
低利融資
設備投資減税
特許料減免
高度化融資

連携体の構成



みらくる型放射光概念図



みらくる20ST

連携のきっかけ、特徴

- 立命館大学発ベンチャー企業である(株)光子発生技術研究所が開発した世界初の小型放射光装置“みらくる20ST”を地域企業と共同で事業化するため相手先を探していたところ、立命館大学に近い栗東市で製造業を営む本間工業(株)が微細加工、リソグラフ分野に進出しようとしていることが分り連携で事業を進めることとした。
- 本連携は超先端の技術で起業したベンチャー企業と地域で長く営業してきた中小企業とがお互いに経営資源を提供して新しい産業を生み出していく連携である。コア企業である(株)光子発生技術研究所は大学発ベンチャーであり、今のところ製造部門を持っていない。そこで地域の企業である本間工業(株)が敷地内に放射線の遮蔽施設等を建設して提供するとともに、製造を受け持つことで、ともに事業を進めるものである。
- コア企業は、世界に類の無い技術を提供し、連携企業は製造部門を提供することで互いを補うことができる。また異業種企業の連携が新しい分野に進出するためのビジネスモデルとなる。本連携はまさにそういった形態の一つである。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社 光子発生技術研究所 代表取締役 山田礼子	
所在地	(草津ラボ) 〒525 - 0055滋賀県草津市野路町砂池 滋賀県テクノファクトリー10号	
創業	平成 9 年 10 月	
資本金・従業員数	9,877万5千円	11名
業種	光子発生装置の研究・開発、製造・販売	
TEL	077 - 566 - 6362	
FAX	077 - 566 - 6368	
ホームページ	www.photon-production.co.jp	
e-mail	i@photon-production.co.jp	

PR等その他の情報

- 高度分析(XFS、タンパク質構造解析等)市場をターゲットとしています。
- ヨーロッパの研究所との商談が進み、間もなく売上げ計上される見込み。
- 平成19年8月29日～31日に幕張メッセで開催される2007分析展に出展予定。
- 認定に至るまでには、課題が多くありましたが、長崎PMの新しい技術に対する探求心と事業化に向けてのご指導により乗り越えることができました。